

INFORMATION

こちらのイベントのお申込み・お問い合わせは、各イベントの「問い合わせ先」へご連絡ください。

「清流の国ぎふ」文化祭2024さきがけプログラム 清流の国ぎふ 地歌舞伎勢揃い公演

ぎふ清流文化プラザを舞台に、来年に迫った「清流の国ぎふ」文化祭2024に向け、県下の地歌舞伎保存団体が熱演を披露します。公演の様子はぎふ清流文化プラザのYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

- 開催日 / 2023年7月22日(土)、7月23日(日)、9月10日(日)、11月12日(日)、2024年3月17日(日)
- 会場 / ぎふ清流座(ぎふ清流文化プラザ長良川ホール)岐阜市
- 料金 / 金/無料



問い合わせ先
(公財)岐阜県教育文化財団
TEL 058-233-8164



tomoniアートサポータープレゼンツ企画展vol.4 わたしのファッションショー

tomoniアートサポーターが企画した持ち寄り型の展覧会を開催します。「わたしのファッションショー」をテーマに、団体や個人、障がいの有無に関わらず、各所で制作された作品を展示します。

- 開催日 / ①公募展 2023年9月9日(土)～9月30日(土) ②ピックアップ展 2023年10月22日(日)～11月7日(火)
- 会場 / ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)
- 料金 / 金/無料



問い合わせ先
岐阜県障がい者
芸術文化支援センター
[TASCぎふ]
TEL 058-233-5377



夏季企画展 忍者—嘘か真か—

これまでの忍者像は、映画やアニメの世界のイメージが先行していました。しかし、近年は歴史資料の調査が行われるようになりその実像が明らかになってきています。忍術書・忍具・古文書などについてわかりやすく解説します。

- 開催日 / 2023年7月15日(土)～9月10日(日)
- 会場 / 岐阜関ヶ原古戦場記念館(関ヶ原町)
- 料金 / 金/無料(別途入館料)



問い合わせ先
岐阜関ヶ原古戦場記念館
TEL 0584-47-6070



受講までの
流れ



要・事前
申し込み

アートラボぎふの全プログラムは、完全予約制となっております。1人でも多くの方に参加・体験いただくために、**参加の可否に関しては事務局よりご連絡いたします。**また、キャンセルが発生した場合、事務局から改めてご連絡させていただきます。WEBまたはFAXでお申し込みください。

WEBでの申し込みはこちら

アートラボぎふ
ONLINE内、
各プログラムページ
からお申し込みください。



FAXの場合は下記の必要事項をご記入の上、お申し込みください。 FAX 0584-71-6130

プログラム名 ご希望のプログラム名を記入してください(複数記入可)							
代表者	ご住所						
	お名前 必須	よみがな ()		性別(自由記載)	年齢	歳	
	電話番号 必須	メールアドレス					
ご参加人数 名 (代表者様も含めた合計人数)	2名以上で参加される方はお連れ様全員のお名前(よみがな)・性別(自由記載)・年齢をご記入ください	よみがな ()	性別(自由記載)	歳	よみがな ()	性別(自由記載)	歳
		よみがな ()	性別(自由記載)	歳	よみがな ()	性別(自由記載)	歳

※諸事情により、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

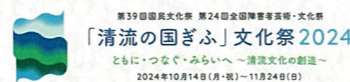
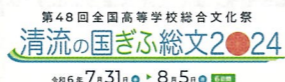
お問い合わせ アートラボぎふ事務局
受付 9:00～18:00(土日・祝日除く)

TEL 0584-71-6133
EMAIL artlabgifu@ne-planning.com



ウェブサイト
www.gifu-art.jp/art-labo/

2023年6月30日現在



ART LAB GIFU

the 6th 2023 — 2024

「清流の国ぎふ芸術祭」のひとつ、アートラボぎふは、岐阜県内各地を舞台にアートに触れ、親しみ、発信できるアート体験プログラム。一流の講師を迎えてアートとの出会いの場(ラボ)として、想像する楽しさ、手仕事の奥深さ、伝統に息づく岐阜の魅力にもアプローチしていきます。

6年目を迎えるアートラボぎふは、「本物」のアート体験をご用意して、あなたをお待ちしております。

講師陣

長谷川喜久 日本画家・名古屋芸術大学教授

野村佐紀子 写真家

立島恵 佐藤美術館学芸部長

横山豊蘭 書道家・アーティスト・名古屋芸術大学非常勤講師

ひびのこづえ コスチュームアーティスト

神戸峰男 日本芸術院会員・名古屋芸術大学名誉教授

アンダーポイント 吉本興業所属芸人 / 吉富Aボタン 放送作家

清山健 美濃市職員 / 中谷さとみ 紙布工房「空桜」主宰

波多野公一 岐阜県書作家協会常任理事

伊藤高志 映像作家

清流の国ぎふ芸術祭 アート体験プログラム

第6回 アートラボぎふ

一流のアーティストによる10の体験プログラム。
アートの扉を開こう。

主催 / 岐阜県・公益財団法人岐阜県教育文化財団

令和5年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業



文化庁

ART LAB GIFU

the 6th 開催予定のアート体験プログラム

3種の絵肌！ 選んで体験、日本画講座！

ぎふチャンアートギャラリーでグループ展を開催します



写真は昨年の講座の様子です

新聞紙、ラップフィルム、ローラーによる絵具表現の中から好きなものを選んで背景を作ります。その上に鳥を配るのも花を咲かせるのも皆さんの好み次第。描いて楽しく飾ってステキ、現代日本画講座です！

8/13 (日) 10:00~17:00
会場/北方町ホリモク生涯学習センターきらり (本巣郡北方町北方1857)

●料金/1,000円 ●定員/20名 ●持ち物/筆・筆洗(貸し出し可能)・モチーフ(描きたいもの) ※モチーフの下図はこちらでもご用意します。

講師 **長谷川喜久** HASEGAWA Yoshihisa
日本画家、名古屋芸術大学教授

1999年 日展特選(同'01'05会員賞/18東京都知事賞/'22第9回日展文部科学大臣賞)	2016年 建仁寺塔頭兩足院 屏風奉納
2011年 上海美術館主催 長谷川喜久展(上海美術館)	2019年 瑞龍寺 塔頭 天澤院 双龍図換 制作
2014年 現代日本画の国際サテライト 長谷川喜久展(岐阜県美術館)	2021年 長谷川喜久日本画展 感情と記憶のカタチ1991-2021(佐藤美術館)
	現在 日展特別会員 新日春会会員 名古屋芸術大学教授



彫刻実技講座 私の好きなもの



写真は昨年の講座の様子です

動物等(人・魚・鶏・その他なんでも可)を制作焼成。講師による作品制作へのアドバイス等も受けながら楽しく彫刻を学びます。2回目は完成した作品を鑑賞しながら講座「美の世界」を行います。

8/26 (土) 13:00~16:30 [第2回] **12/10** (日) 13:30~16:00
※2回シリーズの連続講座です。 ※2回目の講評会のみご参加も可能です。(無料)
会場/セラミックパークMINO (多治見市東町4-2-5) ※2講座とも同じ会場となります。

●料金/1,000円 ●定員/20名 ●持ち物/スケッチブック、鉛筆、作業着(エプロン等)、タコ

講師 **神戸峰男** KAMBE Mineo

彫刻家・日本芸術院会員・名古屋芸術大学名誉教授

1944年 岐阜県生まれ
1988年 名古屋芸術大学美術学部教授就任
2012年 日本芸術院会員就任
2018年 公益社団法人日展副理事長就任



写真実技講座 — BUNTSU3 —



写真は昨年の講座の様子です

「写真は想いが伝わる」。写真による文通を通して、多様な人々と交わり、想いを伝える写真の撮り方を学びます。文通と言っても手紙によるやりとりではなく、テーマにまつわる写真を撮影して交換します。第1回目の講座では、講師である野村佐紀子があなただのポートレートを撮影します。撮ること、撮られることの両方を体験できる講座です。文通後の第2回目の講座で、やりとりした作品を持ち寄り、二人のオリジナル写真集を完成させます。協力：せきがはら人間村

9/16 (土) 11:00~17:00 [第2回] **11/25** (土) 11:00~17:00
※2回シリーズの連続講座です。
会場/せきがはら人間村生活美術館 (不破郡関ヶ原町2067 株式会社関ヶ原製作所内)

●料金/1,000円 ●定員/15名 ●持ち物/撮影機材(機材は問いません、スマホ等でも参加可能です。)

講師 **野村佐紀子** NOMURA Sakiko
写真家

九州産業大学芸術学部写真学科卒業。91年より荒木経惟に師事。主に男性の裸体を中心とした独特な世界を探究し続ける。93年より国内外で展覧会をおこなう。主な写真集に「裸/時間」(平凡社)、「黒闇」(Akio Nagasawa Publishing)、「海1967 2022 下関 東京」(リトルモア)など多数。



アートのお悩み相談会&作品講評会



写真は昨年の講座の様子です

創作活動を行う方だけでなく、鑑賞者、ギャラリスト、コレクターなど美術に興味がある方、誰をも対象としたプログラムとしてスタートしました。今年も今まで通り幅広くアートに関する疑問、質問にお答えしていきたいと思います。同時に参加者の多くは制作者が占めます。相談会とあわせて作品へのアドバイスもおこなうため、制作者はできるだけ実作(大作可)を持参頂き(持参不可能な場合は画像も可)それを言わば公開講評のようなかたちでアドバイスしていきます。

講師 **立島 恵** TATEJIMA Kei 佐藤美術館学芸部長

1960東京都生まれ 和光大学人文学部芸術学科卒業
1990年佐藤美術館設立当初より学芸員として運営に参加。佐藤国際文化育英財団の奨学金プログラムの構築、若い作家に対する支援活動、展覧会等を行い今日に至る。現在 公益財団法人佐藤国際文化育英財団理事、学校法人杉並学院評議員、名古屋芸術大学特別客員教授、武蔵野美術教育研究所所長、絵画のつばき審査委員長、デビュー新人賞審査委員長、日本水墨画大賞審査員



芸術を支える道具を学ぶ — 美濃和紙用具探訪 —



美濃和紙用具ミュージアムふくべ

岐阜県が誇る伝統工芸品の美濃和紙は1300年以上の歴史を有し、現存する日本最古の紙であると言われてます。その技術を支える道具は今も昔と同じ物を使用しています。歴史的価値の高い道具が数多く展示されている、「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」で脈々と守られてきた道具を見て、手に取り、深掘りする講座です。ものづくりを支える道具を知り、体験することで、より深いものづくりの世界を学びます。美濃和紙から布を作る「紙布」にも触れて、美濃和紙が持つ素材としての魅力にもアプローチします。

10/29 (日) 10:30~14:00
会場/美濃和紙用具ミュージアム ふくべ (美濃市片知813)

講師 **清山 健** SEIYAMA Takeshi 美濃市職員
講師 **中谷 さとみ** NAKATANI Satomi 紙布工房「空桜」主宰

1995年 美濃市教育委員勤務 文化財担当
2009年 重要無形文化財 美濃和紙担当
2016年~22年 美濃和紙の里会館館長
2022年~ 美濃和紙推進課長



「染色」を学んだ後、奈良県大和郡山部の観光施設「福本館増屋」で藍染めのインストラクターをする傍ら、紙布織を手掛ける。2020年4月、手漉き和紙「薄美濃紙」に魅了され美濃市に移住。諸紙布(経・緯糸共に和紙糸で織る)を中心に創作活動をする。



書実技講座 — 墨と紙と筆、そして書の出会い —



「カブと大根」(部分)@HOURAN YOKOYAMA2022

書の魅力は「墨」と「紙」の出会いと「筆」による妙技です。そして、書かれた「言葉」が人と人を繋ぎます。美濃紙と墨による「滲み」の魅力を体感しながら、言葉を書きで表現するアート体験プログラムです。会場「勝川家」にて講師の作品も展示します。

11/26 (日) 10:30~15:00
会場/江戸城下町の館 勝川家 (恵那市岩村町317)

講師 **横山 豊蘭** YOKOYAMA Houran 書道家・アーティスト・名古屋芸術大学非常勤講師

書家の3代目として生まれる。芸術大学を卒業後、90年代前半より国内外で展覧会、書道パフォーマンスを展開。テレビ出演が話題となり、ブームの先駆けとなる。全国各地でワークショップ「書画会」を開催。主な著書：「書道」の教科書(改訂版、実業之日本社刊)



篆刻実技講座 古の文字を印に刻む3



講師作「壺天」二種

漢字最古の書体である篆書を石に刻む篆刻(てんこく)。書の歴史を知ること、篆書の書き方を学び、古代の文字に親しみながら、多様な印を鑑賞・分析することが、より自由な印を作るヒントとなります。印刀の使用法や印面構成のコツ等、篆刻の工程を実演しアドバイスします。印の完成までを体験します。

12/17 (日) 10:00~17:00
会場/ぎふメディアコスモス (岐阜市司町40-59)

●料金/500円 ●定員/10名 ●対象/高校生以上
●持ち物/書道用具(硯、半紙用太筆、墨汁、毛氈、文鎮など) ※お持ちでない方も参加できます。篆刻の道具は貸し出しします。希望の方には道具の販売も行います。

講師 **波多野 公一** HATANO Koichi
岐阜県書作家協会常任理事

日展会長、読売書法会理事、謹慎書道会常任理事、全日本篆刻連盟理事、岐阜県書作家協会常任理事。深遠な書と篆刻の世界に魅了され研究を続けている。



パフォーマンス/ MAMMOTH×藤村港平×川瀬浩介 ワークショップ/ちいさな生きものブローチ作り



「MAMMOTH」PH:出口敏行

パフォーマンス MAMMOTH×藤村港平×川瀬浩介
マンモスが地球から姿を消した後も進化を続けてきた人類。文明の発展と共に地球を離れ宇宙へと向かうが、その先に待つものはいったい…。大昔、絶滅したはずのマンモスが目の前に蘇り、私たちに語りかけます。重いテーマを秘めながらも、川瀬浩介の壮大な曲の中、躍動感溢れる若い藤村港平が爽やかにみずみずしく踊り、未来への希望を見せつけます。

ワークショップ「ちいさな生きものブローチ作り」
ひびのこづえが舞台やテレビの仕事で衣装を作ったときに残ったきれいな生地や衣装の断片を使って、きれいな色の糸でチクチク縫いながら、ちいさな生きものブローチを作ります。絵を描くことや縫い物が苦手でも大丈夫です。



12/23 (土) 13:30~16:00 **24** (日) 10:00~12:30
12/23 (土) 17:00~18:15 **24** (日) 14:00~15:15
会場/清流みずほ認定こども園リーベリーホール(瑞穂市森564)

●料金/ワークショップ:1,000円・パフォーマンス:大人1,000円 18歳以下500円 未就学児無料
●定員/ワークショップ:50名 パフォーマンス:150名(予定)
●対象/ワークショップ:4歳から大人まで(小学生以下は保護者も参加。付き添いのみの参加NG)
●持ち物/ワークショップ:筆記用具、色鉛筆、ハサミ(できれば布用)

講師 **ひびのこづえ** HIBINO Kodue
コスチュームアーティスト

静岡県生まれ 東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、パレエ、映画、テレビなどの発表の場は、多岐にわたる。1997年作家名を内藤こづえより改める。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。2023年野田秀樹作・演出の舞台「鬼、波を走る」衣装担当。9/23-奥能登国際芸術祭2023参加。「TYM traveling your memory」をはじめとするダンスパフォーマンスを多数展開中。



ストップ・モーション・アニメ・ワークショップ — スマホで創る実験映像 —



スマートフォンを用いて、ストップ・モーション・アニメーションを作ります。ストップ・モーション・アニメーションとは、1コマずつ撮影をしながら映像を紡いでいく表現手法です。スマホを駆使した様々な撮影方法を学びながら、通常の絵が動くアニメではない独自の動画を作っていきます。

1/20 (土) 10:30~17:00
会場/IAMAS (大垣市加賀野4-1-7)

講師 **伊藤 高志** ITO Takashi
映像作家

1981年、写真のコマ撮りによる10分の短編「SPACY」でデビュー。国内外の映画祭で絶賛され80年代ニューウェーブの旗手と呼ばれた。超現実的な視覚世界や人間に潜在する狂気や不条理を追求している。劇映画や、演劇、ダンスといった他ジャンルの作家たちとのコラボレーションも多数手がける。

